

# KOMOTO STYLE

Vol.16

2017  
AUTUMN-WINTER

雲梯うんていのある家。  
家族の笑顔が集う





十分な幅のある広々ウッドデッキ。思い切り走っても大丈夫



「雲梯楽しい!!  
しっかりぶら下がるようになったよ」



カーブのデザインときれいな色合いが目を楽しみ、オブジェのような雲梯



「ボクも早く雲梯で遊びたいな〜」



邑楽町 / 石倉邸

# 家族の笑顔が集う、<sup>うん てい</sup>雲梯のある家

スッキリとしたモダンな白壁が青空に映える石倉邸。玄関の柱列をはじめとした天然木とのバランスにより、洗練された中にも温かい雰囲気を出しています。出迎えてくれたのは、石倉さんご夫妻と2歳・0歳のお子さんたち。幸せいっぱいのご家族の様子に、たくさんの笑顔があふれる取材となりました。

## イメージ通りのプランで理想の家づくり



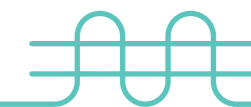
石倉さんご夫妻が家づくりを考えはじめたのは、上のお子さんが1歳くらいの頃。「子どもが生まれてそれまで住んでいたアパートが手狭になってきたので、そろそろかな……と思って」とご主人。ご夫婦ともに実家の近い邑楽町に家を建てようと決め、いろいろなハウスメーカーを回ってみたいそうです。そんな中、河本工業と出会うきっかけになったのが、チラシを見て訪れたモデルハウスでした。「設計担当の鎌田さんとお会いして、『こんな家を建てたい』という

希望を少し話したんです。そうしたらすぐにパース(※建物の外観や室内を立体的な絵にしたもの)を作ってくれて。それがイメージとピッタリだったので、『河本工業さんなら理想の家づくりが叶いそう』と、お願いすることに決めました。そう語ってくれたのは奥様。「白壁に天然木を活かして水色をポイントに」「四角いイメージの家」「広いウッドデッキがほしい」などの希望を伝えたところ、鎌田さんから提案されたパースは、まさにイメージ通りのものだったのだそうです。

ご夫妻は「できあがった家は住みやすさも期待以上。大満足です」とニコリ。実際に建築にあたって、当初のプランからほとんど変更点はなかったそうです。



## 存在感バツグンな、遊び心にあふれた「雲梯」



玄関からリビングフロアへの扉を開けると、キッチンと開放感あるリビングダイニング、その隣にはお子さんたちの遊び場でもある和室が続きます。ここで真っ先に視界に飛び込んでくるのが、和室の天井に備え付けられた「雲梯」です。淡いターコイズブルーの曲線デザインは、まるで現代アートのオブジェのよう。ご主人が「子どもと遊びに出掛けた公園で雲梯を見て、『家にもあったらいいな』と鎌田さんに話したところ、オリジナルの雲梯を作ってくれたんです」と語ってくれました。

体を動かすのが好きな2歳のお兄ちゃんも、雲梯が大のお気に入り。毎日寝る前には「ぶらさがりたい」とパパやママに抱っこをせがむそうです。最近では、大人が手で支えなくても1人でぶらさがれるようになってきたのだとか。まだ0歳の下の子も、数年後にはきっと大喜びで遊ぶのでしょうね。お子さんたち2人も、小さい頃から運動能力が鍛えられて、将来はスポーツが得意になるかも!? また雲梯は、遊具として使わないときは室内物干しに早変わり。とくに空気が乾

燥する冬場は、濡れたタオルなどを干せば室内の加湿にも役立つそうです。遊具、オブジェ、室内物干しと、一石三鳥の大活躍ですね。





キッチン周りの腰壁は、カウンター代わりにもなって便利



外観とイメージをつなぎ、キッチンの目隠しにもなる天然木の柱列



家族みんなで会話も弾みます



建築中はまだママのお腹の中においた弟くん



「イメージ通りの家で大満足です!!」



玄関には4つの窓を彷彿させるニッチを



すべての部屋の境は敷居をなくしフラットに



リビングとウッドデッキは床の高さを揃え、出入りもスムーズ



「四角いイメージ」という希望通りの外観。4つ並んだ正方形の窓がオシャレ

# FAMILY SMILE! OVERHEAD LADDER HOUSE!

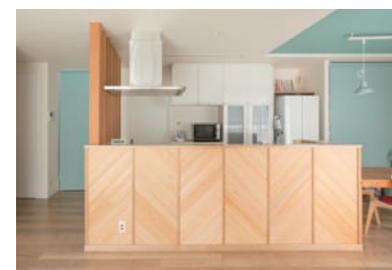
## 天然木が白壁を引き立て、優しい温もりを演出



白壁に映える天然木が印象的な石倉邸。このコンセプトは、外観だけでなく内装にも反映されています。「キッチンの前面には木目の流れを活かした羽目板の張り方をし、オリジナルの家具風のデザインに仕上げました。ほかにも市松張りやモザイク張りなどさまざまな張り方を採用し、部分ごとに異なる天然木の表情を楽しめるようにしています」と鎌田さん。ダイニングスペースの壁や和室天井の羽目板、リビング天井の梁など、白を基調とした中に効果的に天然木をあしらうことで、

ホッとできる優しい温かさを生み出しています。玄関の外にある目隠しを兼ねた天然木の柱列は、同じデザインをキッチン脇にも採用。実はキッチン脇には構造上どうしても必要な柱があったのですが、それをうまく目隠しに活用し、外観と内装のイメージをさりげなくつないでいます。また、内装のアクセントになっているのが、雲梯と同じ色の淡いターコイズブルーです。ダイニングスペースの天井やペンダントライト、ロールスクリーンなど効果的に

ブルーを使い、優しいのオシャレな空間を生み出しました。奥様が「鎌田さんから提案してもらったロールスクリーンは色使いも素敵で、遊びに来た友人たちにも褒められるんですよ」と笑顔。扉と違って開け閉めするためのスペースが必要なく、とても使いやすいそうです。



キッチン周りの羽目板は、木目の流れを活かしてヘリンボーン風に



「居心地が良くてくつろげるので、家族が集まって過ごすことが増えました」



ポイントとなる天然木は、雨の掛からない軒天や外壁のセットバックした面に使用することで劣化の軽減に配慮

## 美しさと暮らしやすさを両立した住まい



そのほかにも、家の中には快適な暮らしのためのさまざまな配慮が施されていました。奥様が「住んでから気がついたんですが……」と語ってくれたのが、フロアをすべてフラットにつなげたフローリングです。部屋ごとの敷居や段差がないため、スッキリとした見た目の美しさに加え、掃除も格段にラクになったそう。ご主人も「リビングから続くウッドデッキも、室内と高さを揃えてもらったんです。部屋の延長のような感じで、すぐにデッキに出られるのがいいですね」と続けます。

さらに、キッチンの後ろには広々とした“家事室”が。洗濯機のすぐ横に大きなテーブルと収納スペースを設け、家族のタオルや洋服もサッとたんで収納できます。動線まで意識した造りで、家事の負担も軽減できている様子。小さなお子さんが2人いるのに、全く雑然としたところがないのにも納得です。取材中、2歳のお兄ちゃんは鎌田さんにピッタリくっついてニコニコ。「普段は人見知りするタイプの子なんですけど、鎌田さんには全然そんなことがなくて。やっぱ

り何でも話しやすいからなのかな」という奥様の隣で、ご主人も「ハウスメーカーは分野ごとに担当者が分かれているのが一般的だと思うのですが、河本工業さんの場合は家のことはもちろん、家電やインテリアのことなど、何でも鎌田さんに相談できました。こちらの都合に合わせていろいろ融通をきかせてくれて、とてもありがたかったです」と続けます。本当に希望に合った提案をしてきて、 unnecessaryなものはすすめないという姿勢にも、信頼感がアップしたそうです。



作業のしやすい広い“家事室”には、室内物干しも設置

家事をしていても遊んでいても、居心地の良いリビングを中心に自然と家族が集まるという石倉家。2人のお子さんの成長とともに、これからますます団欒の和が広がっていくのでしょうか。



設計担当の鎌田さんとパチリ。子ども達も鎌田さんが大好き



リフォームにより、美容室はバリアフリーに



シックな雰囲気であつらいで過ごせる店内



部屋の雰囲気ピッタリなレンガの壁は、外壁との相性ぴったりの店名サイン  
青木さんからのアイデア



どっしりとした重厚感のある応接室



明るい陽の光が降り注ぐ和室の客間



2階にはこだわりの半円形の出窓が



和式だったお店のトイレも一新、  
手すりもついて使いやすく



美容室のお客様にも喜んでいただいています



希望通りの仕上がりに大満足



施工担当の青木です

# 高級感と機能性を両立した大満足リフォーム

抜けるような青空の下、この日訪れたのは、おしゃれな佇まいが目を惹く美容室「ティアラ・コバヤシ」。温かな笑顔で出迎えてくれたのは小林さんご夫妻です。完成から約1年半経った現在も大満足というリフォームについて、その仕上がりやポイントを伺ってきました。



着付け室から庭を眺められる雪見障子は主人のこだわり

## 地域に愛される美容室が大変身。

館林駅からほど近い場所にある美容室「ティアラ・コバヤシ」。ご主人のお祖母様から三代続く美容室で、現在お店を切り盛りするのは美容師である奥様。ここ館林で、地元の方々に長く愛されている美容室です。お店の入口はシックで洗練された雰囲気ながら、全面のガラス窓が開放感を生み出しています。現在の姿からは想像が付きませんが、以前は2階が店舗、1階はご両親のお住まいという造りだったそう。美容室に入るためには外階段を使わなければならない、長く通うお客さんからの「階段の昇り降りが大変になってきた」という声もあり、リフォームを決めたのだそうです。リフォーム完成後は1階が店舗、そして2階は客間と仏間に。まさに1階と2階を入れ替える大改造となりました。



和気藪々で意思疎通もバッチリ

## イメージを共有して理想の仕上がり。

今回のリフォームのポイントをご主人に尋ねてみると「こだわったのは重厚感。あとは担当の青木さんにお任せしました」とのこと。通勤や散歩の折に気になる建物を見かけると、可能な範囲で写真に撮っては、施工担当者の青木さんに相談したといいます。「写真で見るとご希望のイメージが分かりやすいので、とてもありがたかったですね」という青木さんに「思い描いていた通りの内装に仕上がりました。細かいところまでよく対応してくれて感謝しています」とご主人。「重厚感」というコンセプトにあわせ、壁や床、天井なども、サンプルをもとにいろいろな提案をしてもらったそうです。レンガ調の壁や、部屋の雰囲気とマッチした造り付け家具もその一つ。奥様も「『時計をつけたい』というような小さな相談でもすぐに来てくれて、本当に親切にもらって助かりました」と笑顔で語ってくれました。工事期間は約半年。スムーズに進行したことばかりでもないようで…。「鉄骨のみを残して建物をすべて解体したのですが、その鉄骨も少しカットしているんです。職人達とも相談しながら工事を進めていきました」と青木さん。傾斜地だったこともあり、工夫が必要な場面も多かったようです。でも、小林さん夫妻と河

本スタッフがしっかりイメージを共有することで、大満足のリフォームとなったのです。

## リフォームで不便さも解消。

リフォームで変わったのは見た目だけではありません。「給湯器と洗濯機が外にあったので、以前は冬場に凍結してしまうことがよくあったんです」と奥様。「お湯が出にくかったり洗濯機の水が凍ってしまったりで、美容室の仕事をする上でも大変でした。でも今は、そんなストレスからも解放されましたね」。リフォームによって店内は全面バリアフリーになったほか、トイレなども使いやすくなり、「お客様からも大好評です」とニコリ。お店の奥には着付け用の部屋を設け、和箆笥や鏡を造り付けに。「青木さんをお願いしてつくってもらったんです。おかげで、私にとってもお客様にとっても、とても快適なお店になりました」。店舗が1階になった入りやすさもある、新規客の来店も増えているそうです。



## 夢が広がる住まいづくり。

小林さん夫妻のお住まいは、美容室のすぐ裏手です。今回の工事と並行して、ご自宅の外壁と屋根のリフォームも行いました。「劣化やコケが気になっていました」という屋根も、銅板製にして耐久性がアップ。今後は、ご自宅の浴室のリフォームを考えているそう。「冬場は入浴時のヒートショックも心配です。水回りをリフォームすると、省エネ効果も期待できそうですよね。また青木さんにいろいろ相談しようと思います」とご主人。お店も住まいも過ごしやすくなり、これからもますます笑顔が増えそうですね。



着付け室の扉を開けると鏡があらわれます



クローゼット内の和箆笥は造り付けのもの



さりげないレンガ使いで外観や内装ともイメージを統一

# 「ヘアカット」から「着付け」まで、安心の技術力。

冠婚葬祭 成人式 七五三 出張カット など、お気軽にお申し付けください。

Tiara Kobayashi [ティアラ・こばやし] 〒374-0024 館林市本町2丁目4-19 TEL.0276-72-0653



一級着付け技能士

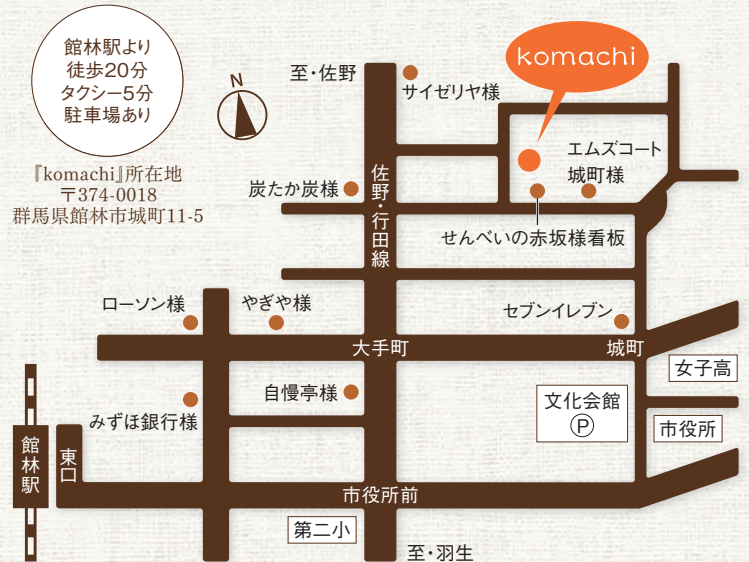
上級着付師之証

月末の金曜日午後は、超断熱 体験型モデルハウス『komachi』へ行こう!



## 超断熱 体験型モデルハウス 『komachi』

高齢者配慮型住宅 耐震等級3 住宅性能表示制度対応 高い資産価値



見学をご希望の方は  
こちらからご予約ください。  
※予約制

電話予約受付時間[平日9:00~17:00]

0276-72-3325

超断熱専用サイト

住宅事業部専用サイト



### 動画でチェック!

あなたのスマートフォンに無料  
アプリ「COCOAR2」をダウン  
ロード、インストールしてください。



無料



右のマーカ―にスマホをかざすと、  
現地まで動画でご案内します。



### 新築住宅ご紹介キャンペーン実施中!

WEBサイト、またはお電話にてご連絡をお待ちしております。

- 私たちの夢をカタチにしてほしい
- 少しでも相談のってくれる会社がいい!
- 品質は大切だから
- やっぱり地元の会社がいいよね

みなさまのお知り合いやご友人に、住まいづくりを  
ご検討の方がいらっしゃいましたらご紹介ください。  
素敵な記念品をプレゼントいたします。  
また、ご紹介いただいたお客様がご成約となった場  
合にはさらに御礼をさせていただきます。

LINE@  
×  
@tix1225y

LINE@はじめました! 友だち登録で、  
うれしい情報をLINEでお届け!

あなたのLINEで友だち登録する方法

- ① 「友だち登録」→「ID検索」で「@tix1225y」を検索して登録
- ② 右の「QRコード」を読み取り登録



ご登録いただいた方にオリジナルカレンダーをプレゼント! ※申請方法はLINEでお知らせします。

編集後記

今回も笑顔が集う”自慢の我が家”  
づくりに貢献する事ができました♪  
これからもたくさんの笑顔が集う住まい  
づくりを目指してまいります。

KOMOTO STYLE 編集委員会

STAFF

- PUBLISHER: Kinsaku Handa
- EDITOR IN CHIEF: Satoru Yamamoto
- EDITOR: Kentaro Kamata
- SPECIAL THANKS CREATORS:  
W/Tomomi Kato, P/Masaaki Konno,  
D/DESIGN NU, DIRECTOR: COIKI INC.

河本工業株式会社 〒374-0057 館林市北成島町2544  
TEL.0276-72-3325 FAX.0276-72-3327

リフォームのご用命はこちら ☎0120-75-9188 | [www.komoto-style.jp](http://www.komoto-style.jp)

本情報誌への掲載や出演のお問い合わせは [info@coiki.net](mailto:info@coiki.net) まで